

## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月5日

上場会社名 株式会社ノリタケカンパニーリミテド  
 コード番号 5331 URL <http://www.noritake.co.jp/>

上場取引所 東 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小倉 忠

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 財務部長 (氏名) 加藤 博

TEL 052-561-7116

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	21,585	8.6	164	—	531	—	248	△46.9
26年3月期第1四半期	19,878	△17.5	△399	—	△18	—	467	12.6

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 1,573百万円 (△46.0%) 26年3月期第1四半期 2,916百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	1.73	—
26年3月期第1四半期	3.13	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	119,263	70,974	58.6	486.24
26年3月期	118,774	69,216	57.8	477.64

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 69,837百万円 26年3月期 68,602百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	45,000	7.3	400	—	900	—	300	35.4	2.09
通期	93,000	4.9	1,600	104.0	2,600	34.7	1,300	△1.0	9.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】3ページ 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	158,428,497 株	26年3月期	158,428,497 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

27年3月期1Q	14,801,893 株	26年3月期	14,800,395 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	143,627,345 株	26年3月期1Q	149,655,273 株
----------	---------------	----------	---------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中でありませぬ。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいており、今後発生する状況の変化によっては実際の業績と異なる可能性があります。なお、上記の予想の前提条件その他関連する事項につきましては、【添付資料】2ページ 1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の売上高は215億85百万円（前年同期比8.6%増加）、営業利益は1億64百万円、経常利益は5億31百万円、四半期純利益は2億48百万円（前年同期比46.9%減少）となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

#### (工業機材)

国内市場では、主要顧客である自動車関連、鉄鋼、ベアリングの各業界が生産を増加させており、電子半導体業界の回復は鈍いものの、全ての商品群において、売上げは増加しました。海外市場では、米州の自動車関連業界が堅調に推移し、中国においても鉄鋼、自動車業界の生産が堅調であることに加え、欧州経済も緩やかな回復傾向にあり、売上げは増加しました。その結果、工業機材事業の売上高は、93億23百万円（前年同期比8.0%増加）、営業利益は83百万円（前年同期比331.8%増加）となりました。

#### (セラミック・マテリアル)

電子ペーストは、セラミック・コンデンサー用の販売が海外・国内向け共に伸長し、太陽光発電用も国内向け販売が好調であったため、売上げは大きく増加しました。セラミックス製品は、厚膜回路基板は車載用の需要が堅調であり、石膏は中国向けが伸長、セラミックコアは航空機用とガスタービン用の受注が堅調であることから、全部門で売上げは増加しました。蛍光表示管は、海外向けは前年同程度に留まったものの、国内向けが好調に推移し、売上げは増加しました。共立マテリアル株式会社は、電子部材が好調に推移し、売上げは増加しました。その結果、セラミック・マテリアル事業の売上高は、79億56百万円（前年同期比19.3%増加）、営業利益は3億25百万円となりました。

#### (エンジニアリング)

主力の乾燥炉及び焼成炉は、顧客の設備投資が回復せず、売上げが減少しました。濾過装置及び混合攪拌装置はベアリング業界の設備投資が回復するなどして売上げが増加、超硬丸鋸切断機は自動車部品業界向けが大幅に増加しました。しかし、乾燥炉及び焼成炉の落ち込みを補うには至らず、事業全体では売上げが減少しました。その結果、エンジニアリング事業の売上高は、20億74百万円（前年同期比13.2%減少）、1億64百万円の営業損失となりました。

#### (食器)

国内市場では、百貨店向けが消費税増税前の駆け込み需要の反動により低迷し、またホテル・レストラン向けも大型受注を獲得できなかったことから、エアライン向けは好調であったものの、売上げは減少しました。海外市場では、米国市場が好調に推移し、欧州市場は微増となり、またアジア市場も一般消費者向けが伸長したことから、売上げは増加しました。その結果、食器事業の売上高は、22億31百万円（前年同期比2.0%増加）、79百万円の営業損失となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が減少したものの、有形固定資産が増加したことに加え、保有株式の株価上昇に伴い投資有価証券の時価総額が増加したことから、前連結会計年度末に比べ4億89百万円増加し、1,192億63百万円となりました。

負債は、その他有価証券評価差額金の増加により固定負債のその他に含まれる繰延税金負債が増加したものの、流動負債の引当金が減少したことに加え、退職給付に係る負債が減少したことから、前連結会計年度末に比べ12億68百万円減少し、482億89百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の増加に加え、新規連結に伴う少数株主持分の増加により、前連結会計年度末に比べ17億57百万円増加し、709億74百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

国際情勢不安や中国経済停滞などの懸念材料はありますが、当社グループとしましては、新技術・新商品の開発、国内生産拠点の品質・コスト・納期における一層の競争力強化及び海外生産拠点からの海外市場の開拓により売上げ及びシェア拡大を図り、業績の向上に努めて参ります。

なお、連結業績予想は平成26年5月8日発表の見通しを変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が764百万円減少し、利益剰余金が445百万円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,291	8,613
受取手形及び売掛金	25,178	24,875
商品及び製品	6,273	6,531
仕掛品	3,243	3,802
原材料及び貯蔵品	3,317	3,333
その他	2,240	2,062
貸倒引当金	△37	△37
流動資産合計	50,507	49,180
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,496	14,835
その他(純額)	22,774	23,272
有形固定資産合計	37,270	38,107
無形固定資産		
	379	861
投資その他の資産		
投資有価証券	28,544	30,005
その他	2,193	1,229
貸倒引当金	△121	△121
投資その他の資産合計	30,616	31,114
固定資産合計	68,266	70,083
資産合計	118,774	119,263
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,209	11,309
短期借入金	5,317	5,180
1年内返済予定の長期借入金	4,212	4,210
未払法人税等	611	181
引当金	1,406	388
設備関係支払手形	1,286	904
その他	4,248	4,772
流動負債合計	28,292	26,946
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	3,812	3,787
引当金	847	662
退職給付に係る負債	1,879	1,138
その他	4,726	5,754
固定負債合計	21,265	21,342
負債合計	49,557	48,289

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,632	15,632
資本剰余金	18,832	18,832
利益剰余金	34,309	34,355
自己株式	△3,979	△3,979
株主資本合計	64,795	64,840
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,758	9,733
為替換算調整勘定	△2,979	△2,845
退職給付に係る調整累計額	△1,972	△1,891
その他の包括利益累計額合計	3,807	4,997
少数株主持分	613	1,136
純資産合計	69,216	70,974
負債純資産合計	118,774	119,263

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
売上高	19,878	21,585
売上原価	14,973	15,824
売上総利益	4,904	5,760
販売費及び一般管理費		
販売費	3,706	4,023
一般管理費	1,598	1,572
販売費及び一般管理費合計	5,304	5,595
営業利益又は営業損失(△)	△399	164
営業外収益		
受取利息	13	10
受取配当金	195	243
受取賃貸料	103	97
為替差益	89	—
持分法による投資利益	24	83
その他	31	31
営業外収益合計	457	467
営業外費用		
支払利息	38	35
為替差損	—	27
固定資産賃貸費用	30	25
その他	7	11
営業外費用合計	76	100
経常利益又は経常損失(△)	△18	531
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	750	—
特別利益合計	750	0
特別損失		
固定資産処分損	8	19
その他	—	4
特別損失合計	8	23
税金等調整前四半期純利益	723	507
法人税、住民税及び事業税	121	143
法人税等調整額	147	128
法人税等合計	269	271
少数株主損益調整前四半期純利益	454	236
少数株主損失(△)	△13	△11
四半期純利益	467	248



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	454	236
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,421	983
為替換算調整勘定	977	275
退職給付に係る調整額	—	81
持分法適用会社に対する持分相当額	62	△3
その他の包括利益合計	2,461	1,336
四半期包括利益	2,916	1,573
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,854	1,437
少数株主に係る四半期包括利益	61	135

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	工業機材	セラミック・ マテリアル	エンジニア リング	食器	計
売上高					
外部顧客への売上高	8,631	6,670	2,389	2,188	19,878
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	19	△2	△309	△107	△399

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益であります。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	工業機材	セラミック・ マテリアル	エンジニア リング	食器	計
売上高					
外部顧客への売上高	9,323	7,956	2,074	2,231	21,585
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	83	325	△164	△79	164

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益であります。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。